

フキ指導案

チーム四小

青 梅 第 四 小 学 校
授 業 改 善
5 年

11月21日(火)2時間目

国語 「弱いロボットだからできること (2/6)」

本時のねらい

◎センテンスカード作りを通して、文章の内容を捉える。(思考力・判断力・表現力)

本時のこだわり

○これまで積み重ねてきたセンテンスカード作り。正木先生の知恵も借りながら、上手にまとめてくれば…!

段階	学習活動	指導・支援(○) 評価(☆)
導入	1. 前時の復習と、今日の学習の見通しを持つ。	○既習事項を想起させ、内容理解を通して構成理解につなげていく見通しをもたせる。
	センテンスカードを作り、各段落の内容をまとめよう。	
	展開1 2. 既習事項から、センテンスカードの作り方を復習する。 3. 中心文の見つけ方を考える。	○いらない所を削るという既習事項を振り返り、学習の見通しをもつ。 ○前回の説明文の単元では大事な所まで削ってしまった児童もいたため、残すべき中心文のポイントを考えさせる。
	展開2 4. 中心文を見つける。 5. トリオ・グループで共有し、中心文をセンテンスカードに書く。 6. 作ったセンテンスカードを共有し、全体の内容を理解する。	○担当の段落をつくるという役割を与えることで、学習を焦点化するとともに、児童の「考えたい!」「伝えたい!」という気持ちを高めさせる。 【焦点化】 ○見つけた中心文を持ち寄り、共有し、児童間で合意形成を図っていくことで、センテンスカードを仕上げさせる。 ○各段落のセンテンスカードを共有することで、内容を理解させる。 【視覚化・共有化】 ☆各段落に書かれている内容を理解している。 (観察・発言・記述)
まとめ	7. 学習内容をまとめる。	○文章にどのような内容が書かれていたかをまとめさせる。